

梅雨晴や  
小さき靴干す  
塀の上 忠文

神戸市会議員

ただ ふみ

# うらがみ忠文新聞

2022年  
春夏の号

## 給食のパンを持って帰る少女!

半世紀以上、前のこと——  
学年がひとつ上り、春、新学期。隣の席に  
なつた笑顔が優しい細面の女の子は、2日に  
一ぱん給食のコッパンを残した。  
いぶかる私に、お腹が痛いのだ、と言った。  
後に、女の子の家に近い男子の情報による  
と、彼女は小さな弟ふたりのために持ち帰っ  
ているようだ、とのことだった。  
ノートをのぞき見ると、きれいな字だった  
し、国語の音読も上手だった。お母さんが病  
弱らしく、時々休むことがあった。  
2学期のはじめ、担任の先生から、彼女が  
転校したことを知らされた。  
それから、その人生で、なまけ心が出たり、少  
しぜいたくな気持ちになつたとき、彼女の笑  
顔がいさめてくれた。  
彼女と逢つていなかつたら、私は神戸市議  
を目標していなかつたらう。  
「貧困追放」「格差解消」を、政治活動の  
テーマに掲げることもなかつたらう。

### うらがみ忠文

- ・1969年 慶應義塾大学法学部政治学科卒
- ・元 大丸神戸店「くじゃく通信」編集長
- ・元 神戸市立御影北小学校 PTA会長
- ・NPO 障がい者就労支援作業所 副理事長
- ・1995年 神戸市会議員初当選
- ・2019年 神戸市会議員7選



JR住吉駅山側・シーア玄関前。みなと銀行住吉支店東隣り。お気軽に!

●「うらがみ忠文ネットワーク」談話室

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1-7-3 矢野ビル3F

TEL/FAX 078-841-1042 Eメール tadafumi@uragami.jp

うらがみ忠文  検索

●〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市会「つなぐ」議員団 浦上忠文発行 TEL 078-322-5849

## 【議会報告】私の、本会議一般質問の要旨。

### ■浦上忠文の質問。

私の持論「社会はお互い様！」についての質問から始める。  
東日本大震災の時に、ある工場がつぶれた。小さいけれど、その部品のないことによって、世界中の自動車工場が、しばらく動かなかった。グローバルグローバルと言って、世界中がでっかい組織になっているように思うけど、本当のグローバリズムというものは、どんなに大きなものでも、小さいものが必要や。  
それが、ほんまの「お互い様」やと考えるが、どうか。

### ■久元市長の答弁。

「お互い様」というお考えは、もう何回も浦上議員から、お聞きしてきました、どちらかというとお互い様というのは、隣近所両隣というか、狭い地域社会のお話をされているのかと思っていました。  
小さな工場でもグローバル社会の中に存在している。  
そして、それが大きな影響を与えるということから見れば、お互い様という考え方は、狭い地域社会だけではなく、普遍的に世界全体にあてはまるということ、ご指摘をお聞きしまして感じました。

### ■浦上忠文の再質問。

世界から見れば小さいけど、ひとりひとりの人間から見れば、市役所は心のよりどころです。  
大都市の神戸市役所です。グローバル社会の一員です。  
難問を抱えて市役所を訪れる皆さまに、「ここは、神戸の市役所です。何事が起ころうと安心です！」と言いきれるような市役所にして頂きたい、と思うのですが、いかがでしょうか。

### ■久元市長の答弁。

気持ちとしては、浦上議員と同じような気持ちを持ちながら、そういうことがやっぱり言えるようにする、と言う気持ちを持って、仕事に取り組んで行きたいと思う。  
職員の皆さまとも、そういう気持ちが共有出来る市役所を目指して、全力で取り組みたい。

「そや、市役所がある！」  
社会の安心、希望を生み出す  
神戸市役所を創ります。

浦上忠文

